



# Smart at AI for kintone Powered by GPT

## 利用マニュアル



2024年 4月 5日 第9版  
M-SOLUTIONS

## 改訂履歴

以下、本マニュアルの改訂履歴です。

版数	作成/更新日	改訂要旨
初版	2023.10.26	新規作成
第2版	2023.10.26	トライアル利用の追加
第3版	2023.12.22	注意事項にゲストスペース対応を追記等
第4版	2023.12.26	注意事項の追加（IPアドレス制限）
第5版	2024.01.26	利用状況、HTML表示、設定書出・設定読込の追記
第6版	2024.02.05	プロンプトに添付ファイルを挿入する場合の追記。モバイル対応。 HTML表示について説明を記載。
第7版	2024.02.27	kintoneWebhookを利用した生成について誤表記を訂正 プロンプトチェーンとパラメータ値詳細設定対応について追記
第8版	2024.03.26	Web取得対応の追記
第9版	2024.04.05	Anrhropic対応の追記と注意事項の追加（HTML表示時のiframeタグ）

# kintoneへのインストール手順

① kintone画面右上の歯車マークをクリック

② kintoneシステム管理をクリック

③ プラグインをクリック

④ 読み込むをクリック

⑤ 参照をクリックし、ダウンロードしたプラグインを選択

⑥ 読み込むをクリック

⑦ 「読み込んだプラグイン」項目に当該プラグインが表示されているか確認してください

※画像のプラグインは例です

読み込んだプラグイン	プラグイン名	説明
	ルックアップコピー先反映プラグイン ver1.1.15 バージョン:1	ルックアップコピー元のデータ更新内容をコピー

参考:kintoneヘルプ(<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)

kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > プラグインの管理 > プラグインを追加/削除する(システム管理)

# アプリへの設定手順

① プラグインを設定するアプリを開き  
画面右の歯車マークをクリック



② 設定タブをクリック



③ プラグインをクリック



⑤ 表示されたプラグインから  
アプリに設定したいプラグイン  
の左側にを入れ画面右下の  
「追加」ボタンをクリックする

⑤

プラグイン名	説明
<input type="checkbox"/> ルックアップコピー先反映プラグイン ver1.1.15	ルックアップ
<input type="checkbox"/> 既読チェックプラグイン ver1.8.8	このプラグ
<input type="checkbox"/> Smart at message for kintone v3.3.0 stg	通知機能を

⑥ 追加されたプラグインの歯車マーク  
をクリックし、プラグインの設定に進む  
※画像のプラグインは例です

プラグイン [ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。  
[追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用する  
利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシス

+ 追加する

状態	プラグイン名	設定	説明
有効 無効にする	検索拡張プラグイン ver1.1.15	<input type="checkbox"/>	必須項目が このプラグ

+ 追加する

④

④ 「+ 追加する」をクリック

## 設定項目

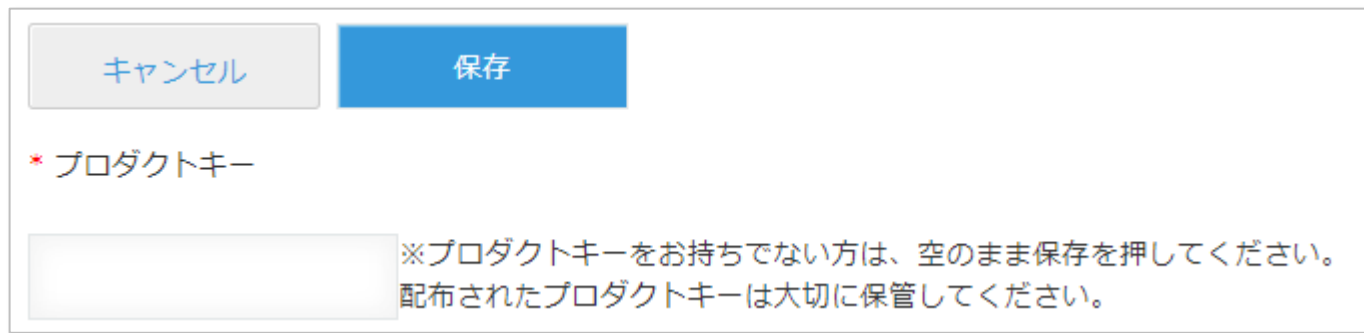
- プロダクトキー
- 利用環境設定
- ログ機能（有償版機能）
- 機密フィルタ（有償版機能）
- プロンプト設定
- プロンプト設定-高度な設定

※**赤枠**で囲まれた部分は必須設定項目となります。

## プロダクトキー設定方法

プロダクトキーは保存時に自動生成されます。

プラグインを複数アプリに適用する場合、生成されたプロダクトキーをコピーし貼り付けて保存してください。



The screenshot shows a dialog box with two buttons at the top: a light gray 'キャンセル' (Cancel) button on the left and a blue '保存' (Save) button on the right. Below the buttons is a label '\* プロダクトキー' (Product Key). Underneath the label is a text input field that is currently empty. To the right of the input field, there is a note: '※プロダクトキーをお持ちでない方は、空のまま保存を押してください。配布されたプロダクトキーは大切に保管してください。' (If you do not have a product key, please press save as is. Please carefully store the distributed product key.)

※初回設定時にプロダクトキーが表示されますので、忘れないよう保管してください。プロダクトキーがわからなくなってしまった場合は、サポートへお問い合わせいただきドメインをお知らせください。

# 利用環境設定

生成環境は「OpenAI」「Anthropic」「Azure」の3つからご選択いただけます。  
各環境の違いは下記の通りです。

	OpenAI Anthropic	Azure
利用	無償版	トライアル、有償版
APIキー	お客様でご用意	弊社で発行

## OpenAI APIキー, Anthropic APIキー

「sk-」から始まるAPIキーをお客様でご用意ください。

OpenAI 参考URL) [https://zenn.dev/umi\\_mori/books/chatbot-chatgpt/viewer/how\\_to\\_use\\_openai\\_api](https://zenn.dev/umi_mori/books/chatbot-chatgpt/viewer/how_to_use_openai_api)

Anthropic 参考URL) <https://zenn.dev/en2enzo2/articles/77818ab03d9da2#claude3%E5%A7%8B%E3%82%81%E6%96%B9>

## Azure APIキー

トライアル時は、弊社営業よりご連絡いたします。

有償版ご契約時は、サポートよりお送りするメールでご連絡いたします。

- ① 利用する環境を選択します。
- ② APIキーを入力します。  
※APIキーについては上記枠線内をご確認ください。
- ③ 生成に利用するモデルを選択します。  
※有効なAPIキーが入力されると選択可能になります。
- ④ 現在設定しているアプリのAPIトークンを入力します。  
※詳細は**プロンプト設定** **高度な設定** **Webhook 設定①**をご覧ください。
- ⑤ 当月の生成回数を表示します。

# ログ機能

## ※トライアル、有償版機能

生成実行時の実行ログを指定したアプリに残すことができます。  
指定するログアプリはテンプレートファイルを用いて別途作成してください。

参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)

kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの作成と削除 > ファイルを読み込んでアプリを作成する > テンプレートファイルからアプリを作成する

①  ログ機能を利用する **※チェックした場合のみ下記設定が表示されます**

② \* ログアプリID  
ログを保存するアプリのアプリIDを入力してください。

③ \* ログアプリAPIトークン  
ログを保存するアプリのレコード閲覧・追加権限のあるAPIトークンを入力してください。

- ① ログ機能を利用する場合はチェックします。
- ② ログアプリのアプリIDを入力します。  
※「[https://\[サブドメイン\].cybozu.com/k/](https://[サブドメイン].cybozu.com/k/)」に  
続いて表示されている末尾の数字がアプリIDです。
- ③ ログアプリのAPIトークンを入力します。  
※閲覧・追加権限のあるAPIトークンを入力してください。

参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)

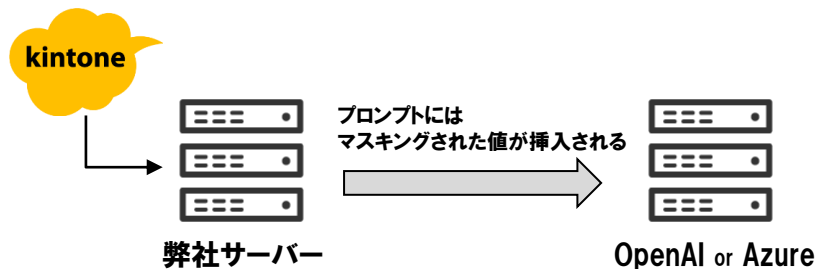
kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの設定 > APIトークンを生成する



# 機密フィルタ機能

## ※トライアル、有償版機能

設定で指定したフィールドの値をマスキングすることができます。



機密フィルタ

①  機密フィルタを利用する ※チェックした場合のみ下記設定が表示されます

② \* 対象フィールド

フィールド名 (フィールドコード)	フィールドタイプ
<input type="checkbox"/> 作業者 (作業者)	作業者
<input type="checkbox"/> 更新者 (更新者)	更新者
<input type="checkbox"/> 作成者 (作成者)	作成者

- ① 機密フィルタ機能を利用する場合はチェックします。
- ② 機密フィルタの対象とするフィールドを設定します。

# プロンプト設定

- ① 新しい設定を追加することができます。
- ② 設定を有効にする場合はチェックします。
- ③ 任意の設定名を入力します。

## ④ 結果を保存するフィールドを選択します。

※選択可能なフィールドの種類は、「文字列(1行), 文字列(複数行), リッチエディター」のいずれかになります。

## ⑤ プロンプトを入力します。

※「%%フィールドコード%%」を入力することで実行時にそのフィールドの値を挿入することができます。

※下部にあるドロップダウンリストからフィールドを選択し、挿入ボタンを押下することでプロンプトへフィールドコードを入力可能です。

「フィールド名を含む」にチェックすると、フィールド名も含め、挿入することができます。

「すべてのフィールドを挿入」ボタンですべてのフィールドを挿入することもできます。

※挿入可能なフィールドの種類は、

スライド「プロンプトに挿入できるフィールド」に記載しています。

## ⑥ 高度な設定を開きます。

※詳細は次スライドをご覧ください。

## ⑦ 設定が複数あるときに並べ替えることができます。

## ⑧ 設定を削除します。

# プロンプト設定 高度な設定

高度な設定ではWebhook設定や生成タイミング、生成ボタンのカスタマイズなどが可能です。

- ① 1つ上の設定に続けて生成を行う場合はチェックします。
- ② Webhookを利用して生成を行う場合はチェックします。  
※詳細は次スライドをご覧ください。
- ③ 生成時に確認ダイアログを出したい場合はチェックします。  
※Webhook利用時は「生成ボタン押下時」のみ確認ダイアログが出ます。
- ④ 生成タイミングをカスタマイズできます。  
レコード追加時とレコード編集時においては、下方はWebhook無効時、右上はWebhook有効時に選択します。
- ⑤ 入力したURLを読み生成を行う場合はチェックします。  
テキスト形式かHTML形式かを選択することができます。  
※HTML形式を選択するとURLから取得する情報量が多くなり、トークン数が上限を超えてしまう場合があります。トークン数の多いモデルを選択する、または情報量が少ないURLを指定して下さい。
- ⑥ 生成結果をHTML表示する場合にチェックします。  
HTML表示するスペース(要素ID)を選択します。  
プロンプトでHTMLのタグ付きで出力するように指示することで、「結果保存先」に原文が表示され、選択したスペースにHTMLで表示されます。

## プロンプト設定 高度な設定 Webhook 設定①

本設定を有効にすると、Webhookを利用して生成を実行することができます。

※併せてkintoneのWebhook設定を行ってください。

Webhook設定	* 生成タイミング	
<input checked="" type="checkbox"/> Webhookを有効にする	<input type="checkbox"/> レコード追加時	<input type="checkbox"/> レコード編集時

Webhook利用時の生成タイミングを設定します。

利用環境設定
アプリAPIトークン
<input type="text"/>
Webhook利用時に使用します。 現在設定しているアプリのレコード編集権限のあるAPIトークンを入力してください。

利用環境設定の「アプリAPIトークン」に  
現在設定しているアプリのAPIトークンを入力します。  
※編集権限のあるAPIトークンを入力してください。

参考) kintoneヘルプ (<https://jp.cybozu.help/k/ja/>)  
kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの設定 > APIトークンを生成する

※kintone Webhookの仕様上、以下の場合には生成を実行することができません。

- Excel/CSVファイルを読み込んでレコードを操作する
- 複数のレコードを一括削除する
- 複数のレコードを一括操作するREST APIを使用してレコードを操作する
- 1分間に61回以上レコードを操作する(61回目以降の操作は生成が実行されません)

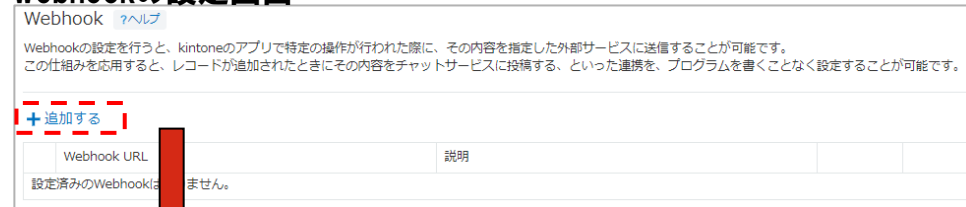
# プロンプト設定 高度な設定 Webhook 設定②

## kintoneのWebhook設定例

### アプリの設定画面



### Webhookの設定画面



### Webhookの追加画面



Webhook URL:  
**https://ai-web-api.smartat.jp/api/webhook**

通知を送信する条件:

- レコードの追加
- レコードの編集

有効化:

「このWebhookを有効にする」をチェックする

# プロンプト設定 高度な設定 生成モデルパラメーター

パラメータ値の詳細を設定可能です。

生成モデルパラメーター ※通常の利用では設定を変更する必要はありません。

- ① 最大応答 (Maximum length)
- ② 温度 (Temperature)
- ③ 上位P (Top P)

① モデル応答あたりのトークン数に制限を設定します。APIは、プロンプト（システムメッセージ、例、メッセージ履歴、ユーザークエリを含む）とモデルの応答の間で共有される最大のMaxTokenPlaceholderDoNotTranslate個のトークンをサポートします。1つのトークンは、一般的な英語テキストの約4文字です。

② ランダム性を制御します。温度を下げることは、モデルがより反復的および決定論的な応答を生成することを意味します。温度を上げると、予期しない応答や創造的な応答が増えます。温度または上位Pの両方ではなくどちらかを調整してみてください。

③ 温度と同様に、これはランダム性を制御しますが、別の方法を使用します。上位Pを下げると、モデルのトークンの選択がより可能性が高いトークンに絞り込まれます。上位Pを上げると、確率が高いトークンと低いトークンの両方からモデルが選択できるようになります。温度または上位Pの両方ではなくどちらかを調整してみてください。

# プロンプトに挿入できるフィールド

フィールドタイプ	備考
作成日時 更新日時 文字列(1行) 文字列(複数行) リッチエディタ 数値 計算 ラジオボタン ドロップダウン 日付 時刻 日時 リンク ルックアップ ステータス ※1	
作成者 更新者	cybozu.comに登録されている表示名がプロンプトに挿入されます。
チェックボックス 複数選択	複数の値が選択されている場合はカンマ区切りでプロンプトに挿入されます。 例:「選択肢A, 選択肢B, 選択肢C」
ユーザー選択 組織選択 グループ選択 添付ファイル 作業者 ※1 テーブル	選択肢にはcybozu.comに登録されている表示名、組織名、グループ名もしくはファイル名が入ります。 複数の値が選択されている場合はカンマ区切りでプロンプトに挿入されます。 例:「選択肢A, 選択肢B, 選択肢C」 ファイル名のみ挿入です。ファイルの内容については、利用することはできません。  複数のフィールドが設定されている場合はカンマ区切りでプロンプトに挿入されます。

※1 プロセス管理が有効の場合のみ利用可能



### ①設定書出ボタン

入力した情報をjsonファイルとしてダウンロードします。

### ②設定読込ボタン

①でダウンロードしたファイルを読み込ませることで、入力した情報を復元します。



# 生成を実行する

生成する

## ②生成を実行する

※生成ボタンの有無・位置や生成タイミングは設定によって異なります。

## ①プロンプトに挿入した フィールドに値を入力する

## ③生成結果が「結果保存先」に保存される

## プロンプト例

あなたは優秀なビジネスマンです。  
下記の宛先とメモ書きから、条件を満たすメールの本文を考えてください。

条件:

- ・ビジネス用の丁寧な文体で
- ・宛先は本文に含めて
- ・350文字程度で

宛先:

%%宛先選択%%

メモ書き:

%%メモ書き%%

宛先選択

高野 瞬

メモ書き

- ・先日のMTGはありがとうございました
- ・頂いたA案とB案を比較し検討した結果、B案で進めることになった
- ・B案について、よりブラッシュアップする必要がある
- ・近々再度MTGしたい
- ・次回MTGは弊社佐々木も参加する想定

出力結果

件名: B案の進行と次回MTGについて

高野 瞬様、

ご多忙の折に、先日はMTGにご参加いただき、誠にありがとうございました。

先日頂いたA案とB案につきまして、社内で検討を重ねた結果、当社としては、B案にて進めさせていただくこととなりました。しかしながら、B案については更なるブラッシュアップが必要と感じております。

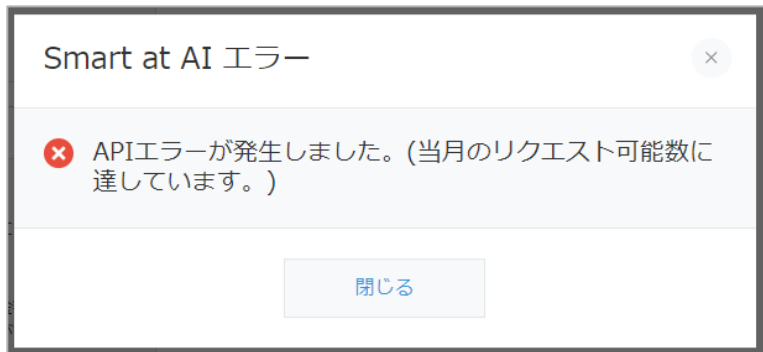
そこで、宜しければ近々に改めてMTGを設定し、案を取り上げさせていただきたいと考えております。尚、次回のMTGには当社の佐々木も参加させていただく予定です。

皆様のお忙しい中お手数をお掛け致しますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

## 生成回数が契約の上限を超えた場合

ご契約されたプランの生成回数の上限に達した場合はエラーが表示されます。  
サポートにお問い合わせください。



## 期限切れについて

トライアル期限や契約期日を超過してご利用の場合、アプリの一覧画面で下記ダイアログが表示されアプリを利用することができません。その場合、アプリからプラグインを削除するか、ご契約の更新をお願いいたします。

The screenshot shows a white dialog box with a red header and two main sections. The header contains a blurred red title and the text 'の有効 期間が終了しました。'. The first section contains a red circle icon followed by the text '利用を再開される場合は、販売元へご連絡いただき、ライセンスキーをご購入ください。' and a blue button labeled 'お問い合わせ'. The second section contains a red circle icon followed by the text 'プラグインの利用を解除する場合は、アプリの設定 > プラグインのメニューより、プラグインの利用を解除ください。' and a smaller note '※アプリの設定を行う権限がない場合は、kintoneの管理者様にご確認ください。' and a blue button labeled 'アプリの設定 > プラグイン'. At the bottom center, there is a red button labeled 'お困りの場合はこちら'.

**の有効 期間が終了しました。**

① 利用を再開される場合は、販売元へご連絡いただき、ライセンスキーをご購入ください。

[お問い合わせ](#)

① プラグインの利用を解除する場合は、アプリの設定 > プラグインのメニューより、プラグインの利用を解除ください。

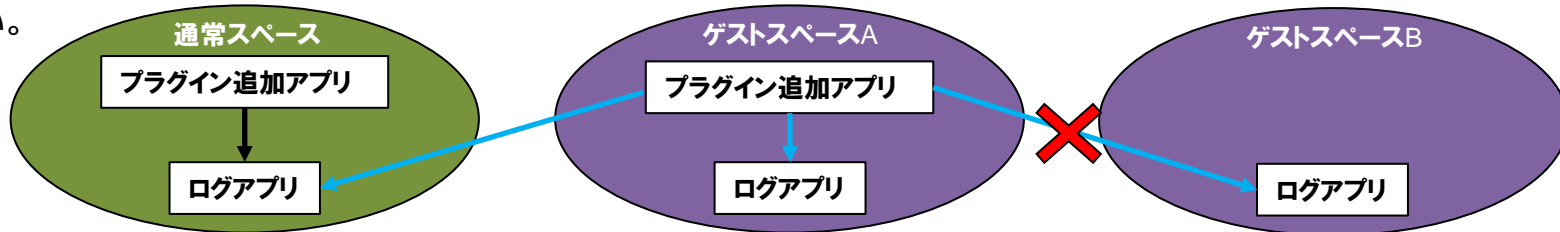
※アプリの設定を行う権限がない場合は、kintoneの管理者様にご確認ください。

[アプリの設定 > プラグイン](#)

[お困りの場合はこちら](#)

## 注意事項

- ゲストスペースに対応しています。  
ログ機能利用時は、プラグイン追加アプリが通常スペースにある場合は通常スペース、プラグイン追加アプリがゲストスペースにある場合は同じゲストスペースか通常のスペースにログアプリを配置してください。



- モバイル端末からブラウザ操作、kintoneのモバイルアプリに対応しています。
- セキュアアクセスに対応しています。プラグインを設定する際は、IPアドレスが許可された環境（kintoneのサブドメインに「.S」が含まれない環境）から設定して下さい。
- SAML認証・Basic認証には現時点では対応していません。
- LGWAN環境には対応していません。
- kintoneにIPアドレス制限を設定している場合、以下の弊社サーバーのIPアドレスを許可して下さい。  
IPアドレス：74.226.163.53
- 「生成中にAPIエラーが発生しました。(指定されたモデルの最大トークン数を超過しています。)」と表示された場合、プロンプトの文字数や結果の文字数が小さくなるよう調整してください。
- HTML表示を指定している場合、iframeタグは表示されません。